

私たちの理念「一視同仁」

合品会业

第46回定期総会

2024年4月1日発行

第137号

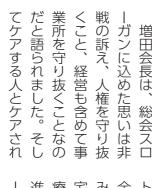


社会医療法人同仁会 同仁会報編集委員会 〒590-0821 堺市堺区大仙西町6丁184-2 TEL 072(244)7260 FAX 072(247)0165 URL https://www.mimihara.or.jp (同仁会HP)

## 本民医連第46回定期総会

るのだなと正直驚きまし 針案が練り上げられてい 中も議論をしながら修正 を行いました。総会期間 も熱い議論をしながら方 決されました。こんなに や加筆がされ最終的に採 会方針案についての討論 の代議員が参加して、3 はらグループからは9人 ぶりの集合形式で、みみ た全日本民医連の定期総 日間にわたり第4期の総 会に出席しました。4年

沖縄で2月に開催され 増田会長は、



総会スロ ーマで発言しました。

院みみはらホールに

3月18日に総合病

会報告会を開催しま て、全日本民医連総

河原林病院長 報告書を作成し 夜までかかって

病院長へ、「交流の機会

田端理事長から河原林

療、無料低額診療事業推 宅クリニックの訪問診 りました。同仁会から 630を超える発言があ 流を行い、分散会全体で 進委員会の活動などのテ 全職員参加の経営、老健 は、地域包括ケアシステ みや課題の報告と意見交 みみはらの経営改善、在 技術部でのタスクシフ **ム研修、事務職員育成、** 医師の働き方改革、

行い、その後深 分散会の総括を 会の座長を担当 分散会当日の夜 に座長団会議で したのですが、 私は第8分散

が就任されました。

長が退任、河原林病院長

代が紹介され、田端理事

全日本民医連理事の交

全体会で報告を行う

めていくことが提唱され ある「ケアの倫理」を深 る人の関係性の考え方で

> う、予想以上にハードな 散会報告発言を行うとい て、3日目の全体会で分

あふれた総会となったこ それ以上に熱い気持ちに

します。

(耳原総合病院

病院長 河原林正敏)

をお伝えして報告といた

もらって帰ってきたこと

と、参加メンバー全員が

思わせる陽気でしたが、

日程でした。

会期中の那覇は初夏を

発言してみんなが元気を

ず」との言葉に大いに励 てず ぶれず きらめないこと」「あわ 歩んでこられた先生のお 縄民医連の歴史とともに のたたかいの歴史と、沖 統治下の沖縄での人びと 先生のお話でした。米軍 のレジェンド、 ました。「勝つことはあ 話に本当に心が熱くなり まされました。 記念講演は沖縄民医連 あきらめ 仲西常雄

法人や事業所での取り組 会に別れて、それぞれの 総会2日目は13の分散

うな気持ちになりま

の記念講演では、つい50 領され国民の人権が虐げ 年前の沖縄で、米軍に占 設に携わられた仲西先生 1日目の沖縄民医連創

> ることを学びまし 地域に寄り添い

医連職員として関わり、

様々な経験を経た今回

は、土台を固められるよ

私も「同仁会の無料低額 診療事業推進委員会の活 2日目の分散会では、 られていたことに驚きま

解すらなかなか進まなか

間もなく、運動方針の理

前回総会時は入職して

ったのですが、3年間民

生まれた〟という言葉か を感じました。 に声を挙げることの意味 いの中から沖縄民医連は \*命を守る運動とたたか た。 共

動と感じている課題」と

縄を守る運動が続いてい した。そして今もなお沖

れからの活力となりまし 外国人医療や行政との連 が行っている広報活動と いうテーマで、当委員会 課題を聞けたことで、こ 様々な活動や抱えている へ伝えることができた、 ました。約60人の参加者 携における課題を発言し

全国の繋がりが心強く

定期総会に参加して

魅力ある組織の民医連

域の方々の権利を大切に になると思いながら、地 の繋がりは心強く、魅力 ている活動は全国の一歩 ある組織だと感じられた していきたいと思います。 3日間でした。日々行っ 全国で活動する民医連

(耳原総合病院 MSW 窪田愛裕美)

バトンタッチされました

振り返り、「多く ど、多くの問題に セラチア事故な もに歩んだ経過を 全日本民医連とと 向けて、前倒産や 事長から参加者に 最後に、田端理

0年の樹、がある の教訓をもとに みみはら203

送られバトンタッ ってほしい」とエールが チで

悩みも共有しながら頑張 が多くなるので、多くの

と呼びかけられました。 ことを胸に邁進しよう」